

議事録（概要）

会 議 名	令和4年度第2回地域包括ケア推進委員会					
会 場	芦屋町役場3階31会議室					
日 時	令和4年12月22日（木） 10:00～11:00					
委員の出欠	委員長	中村 貴志	出	委員	上田 直樹	出
	副委員長	小徳 薫	出	委員	福原 光次	欠
	委員	櫻井 俊弘	出	委員	末武 司郎	欠
	委員	岳藤 さおり	出	委員	松尾 シズ子	出
	委員	安部 知彦	欠	委員	川上 誠一	出
	委員	白石 英也	欠	委員	小田 武人	出
	委員	瀬戸 公美	出	委員	占部 吉郎	欠
件名・議事	<p><b>議事</b></p> <p><b>1 第9期芦屋町高齢者福祉計画の策定について</b></p> <p><b>2 第9期芦屋町高齢者福祉計画策定のための住民アンケート調査について</b></p> <p><b>3 その他</b></p>					
合意事項 決定事項	<p><b>1 第9期芦屋町高齢者福祉計画の策定について</b> ・報告、了承された。</p> <p><b>2 第9期芦屋町高齢者福祉計画策定のための住民アンケート調査について</b> ・報告、了承された。（修正については、委員長及び事務局一任。）</p>					

# 令和4年度第2回地域包括ケア推進委員会 議事録

## ○日時

令和4年12月22日(木)10:00～11:00

## ○場所

芦屋町役場3階 31会議室

## ○協議事項

- 1 第9期芦屋町高齢者福祉計画の策定について
- 2 第9期芦屋町高齢者福祉計画策定のための住民アンケート調査について
- 3 その他

### 議事1 第9期芦屋町高齢者福祉計画の策定について

- 事務局から【資料1】「第9期芦屋町高齢者福祉計画策定方針について」に基づき説明。

#### (委員長)

- ・他の計画と非常に関連性が高い。地域住民、全員の参加がないと高齢者問題は進まないと考える。

### 議事2 第9期芦屋町高齢者福祉計画策定のための住民アンケート調査について

- 事務局から【資料2】「芦屋町高齢者福祉に関するアンケート調査」に基づき説明。

#### (委員長)

- ・前回調査の回答で、回答しにくかった、わかりにくかったなどの意見はあったか。

#### (事務局)

- ・比較的ボリュームが少なくなるよう考慮して調査票を作成したため、わかりにくい、量が多いなど、回答しにくいという意見はあまり見受けられなかった。

**(委員)**

- ・問 11 は前回なかったかと思うが、今回追加されたのか。
- ・追加設問をお願いしたい。1 つ目は、医療機関へのアクセスの問題。通院されていない方々が交通手段に困っているかどうかを知りたい。
- ・前回の調査対象を知りたい。

**(事務局)**

- ・問 11 に関しては前回調査にも同じ項目が入っていた。
- ・前回の調査でも、今回と同じ 65 歳以上の方 1,500 人を対象としており、有効回収数は 794 人、52.9%の回答を得ている。

**(委員)**

- ・病院へのアクセスの問題。バスの時間がなかなか合わないなどの声もよく聞く。その点を明らかにしていった方がよいように思う。

**(事務局)**

- ・現状、芦屋町は J R も通っていないため、巡回バスを運行したり、町内部分の市営・タウンバス料金を試行的に 100 円均一にしたりといった対策を行なっているが、不便に思われている方もいるかと思う。その点を尋ねる設問を加えたいと思う。

**(委員)**

- ・問 32 の選択肢に相談窓口とあるが、どのような相談窓口があるかも周知出来たらいいように思う。
- ・P13 今回新しく追加されたコロナ禍に関する質問について、もっと丁寧に聞いていただきたい。心身の健康面の悪化と一言でまとめられているが、実際に体力が低下したか、心がけていることがあるかなど、こちらについて詳しく聞いてほしい。実際に気力、体力の低下は非常に大きな問題となる。

**(委員長)**

- ・相談窓口の話が出たが、芦屋町の場合どの程度相談窓口が必要なのか、改めて確認していくことが必要だと思う。
- ・コロナ禍における体調等の変化については、詳しく掘り下げる問いを設けたい。

**(委員)**

- ・高齢者の方がコロナでなかなか外に出れず、認知症が進んでしまう方もいる。どうしたらいいか、どこに相談したらいいかわからないという方も多い。気軽に相談できる場所を増やしてはどうかと思う。先程、訪問診療と在宅医療が違うとのお話があったが私も知らなかった。

**(委員)**

・訪問看護、訪問診療、往診は微妙に違う。なかなか難しいと思うが違う概念となる。芦屋中央病院でも相談については重要視しており、総合的な相談を受けるための部門をつくった。芦屋中央病院の相談窓口ももっと宣伝し、みなさんに知っていただきたい。

**(委員)**

・芦屋中央病院の訪問看護で働いているが、在宅関連の部門が建物内の一角に集中して配置されており、連携を取りやすい体制となっている。コロナ禍で小さいお子さんと長いこと会えない方もおり、早く家に帰りたいと相談されることも多いが、在宅で医療を受けられるサービスがあると知っていただけることで、在宅移行の方も増えた。

**(委員長)**

・地域の中でいろいろな窓口、いろいろなサービス機関の連携体制をどう構築するかが次の大きな課題となる。アンケートの中では相談というところについて、何らかの項目が必要ではないかというのが皆さんからの意見が出ている。相談窓口が芦屋町のどこにあるのか、それをどの程度の方が知っているのかということも重要に思う。

**(事務局)**

・高齢者の皆さんが、困りごとを相談できる場所をどれくらい把握されているのかを問う設問を加えたいと思う。

**(委員)**

・民生委員として活動しているが、認知症への理解を私達が働きかけなければいけないと思っている。認知症の人のことをもっと町全体で勉強していければと思う。  
・認知症の家族同士でお茶をされる会があり、とてもいい会だった。企画されているがあまり周知されていないように感じた。芦屋町の取り組みをもっと周知されてはどうかと思う。

**(事務局)**

・周知不足もあるかと思う。様々な機会を捉えて周知を図っていきたい。

**(委員長)**

・他に意見なければ、今回頂いた意見をもとに、事務局でアンケート調査票の修正を進めていただきたいと思う。

### 議事3 その他

#### (事務局)

・皆様から頂いた意見をもとにアンケート調査票を修正し、委員長にも確認頂いた上で年明けに修正したものをお送りできるかと思う。アンケート調査の実際の発送については2月頃を予定している。令和4年度の会議は今回が最後。次回の会議は令和5年度の6月頃を予定している。

以上